

シラバス

第1学年

SYLLABUS 2021

福井県立 金津高等学校
Kanazu High School

第1学年 目次

【教科】	【科目】	【対象クラス】	ページ
国語	国語総合	全	…… 3
公民	現代社会	全	…… 5
数学	数学Ⅰ・A	全	…… 7
理科	物理基礎	全	…… 9
	生物基礎	全	…… 11
体育	体育	全	…… 13
	保健	全	…… 15
芸術	音楽Ⅰ	全	…… 17
	美術Ⅰ	全	…… 19
	書道Ⅰ	全	…… 21
英語	コミュニケーション英語Ⅰ	全	…… 23
	英語表現Ⅰ	全	…… 25
家庭	家庭基礎	全	…… 27
情報	社会と情報	全	…… 29
総合的な探究の時間	I P T	全	…… 31

教科名	科目名	履修学年	対象学科	単位数
国語	国語総合	1年	普通科	6

1. 学習の目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2. 教科書

- ・「改訂版 国語総合 現代文編／古典編」（数研出版）

3. 副教材等

- ・「完全マスター古典文法」（第一学習社）
- ・「古典文法ワークノート」（第一学習社）
- ・「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版）
- ・「例文による漢文の習得」（浜島書店）
- ・「字義で覚える常用漢字」（浜島書店）

4. 授業の進め方

- ①教科書を正確かつ丁寧に読解していくことを中心とするが、適宜、教師からの発問に答えたり自分の考えを文章にまとめたりする発展学習を行うことで、自らの考えを表現する能力を身につけていく。
- ②年度当初は語彙力などの基礎が定着しているかどうかを確認しつつ授業を進める。その後は、質・量ともに手応えのある文章をその構造を意識しながら読み進めることで、主題を的確につかむ読解力を身につけていく。

5. 確かな学力を身につけるためのアドバイス

- ①国語辞典を活用し、家庭でも学校でも分からない語句を調べて確認する。この努力が後々、読解力の向上にじわりと効いてくる。
- ②授業中は板書をノートに写すだけではなく、教師の発言で重要だと思った事柄などもノートに書き込む。分かりやすく丁寧なノートを取ることで単元の理解が深まり、試験勉強も充実したものとなる。
- ③現代文の授業に予習は不要と考えている生徒が多いが、実際は事前に辞書を引いて語句の意味を調べる、あるいは本文を通読して疑問点を明らかにしておく作業が不可欠である。この作業を怠ると授業の内容を理解するのが困難となるだけでなく、読解力も伸びてゆかない。
- ④読解に必要な語彙力を身につけるために必要に応じて小テストを行うので、しっかりと学習した上でテストに臨むこと。また、間違えたものはその都度正しい意味や漢字を辞書で確かめるなどして確認すること。

6. 評価方法・考査・テスト・課題等

考査は「現代文・漢文」、 「古文・古典文法」の2本立てで行い、中間・期末考査の成績、小テストの成績、提出物の実施および提出状況、ノートの内容、そして主体的・意欲的に授業に参加しているかどうかなどの態度を総合的に評価する。

7. その他の留意点

国語の力を向上させるためには、授業だけではなく、読書が不可欠である。できる限り、多くの文章を読み、活字にふれるようにすること。

国語総合 年間学習計画表

科目	国語総合	単位数	6単位	学年等	1年	担当者					
教科書	改訂版 国語総合 現代文編／古典編 (数研出版)			副教材等	プレミアムカラー国語便覧 (数研出版) 完全マスター古典文法、古典文法ワークノート (第一学習社) 字義で覚える常用漢字 (浜島書店) 例文による漢文の習得 (浜島書店)						
目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。										
評価の観点											
関心・意欲・態度		話す・聞く能力		書く能力		読む能力		知識・理解			
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。		目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。		相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。		文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。			
学期	月	考査	学習項目 (単元)	学習内容および目標	評価の観点					評価方法	
					関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解		
1 学期	4	中間	評論 「水の東西」	・文章のキーワードとなる語句を理解し、筆者の主張を読み取る。 ・文化比較を通して自国の文化の相対化を行う。	○	○	○	○	○	授業態度、発問評価 プリント、定期考査	
	6	期末	小説 「羅生門」	・登場人物の心理を丁寧に押さえ、小説のおもしろさを味わう。 ・比喩表現や情景描写の効果的な使い方を学ぶ。 ・登場人物の生き方について、自分の考えを他者に発表する。	○	○	○	○	○	授業態度、発問評価 プリント、定期考査	
	4	中間	「宇治拾遺物語」 ・児のそら寝 ・絵仏師良秀	・歴史的仮名遣いなどに注意して音読する。 ・古語辞典を使って古語の意味を確認しながら読む。	○	○	○	○	○	授業態度、発問評価 プリント、定期考査	
	5	6	期 末	「徒然草」 ・神無月のころ ・ある人弓、弓射ることを ・丹波に出雲といふ所あり ・花は盛りに	・それぞれの語に込められた作者の考えや主張を読み取る。 ・場面の展開をとらえ、それぞれの語の面白さについて考える。 ・古典文法の用言 (動詞・形容詞・形容動詞) を理解する。	○	○	○	○	○	授業態度、発問評価 プリント、定期考査
	4	中間	「入門一・二」 (訓読の基礎、再読文字、等)	・短い例文を繰り返し音読し、漢文の言い回しに慣れる。 ・訓点を用いた訓読方法について理解する。	○	○	○	○	○	授業態度、発問評価 プリント、定期考査	
	6	7	期 末	故事 「漁父之利」「矛盾」 「狐借虎威」「朝三暮四」	・置き字、再読文字の意味や用法について理解する。 ・短い文章を読み、面白さを味わう。 ・本文の歴史的背景を学習し、寓話に託された論者の意図を理解する。	○	○	○	○	○	授業態度、発問評価 プリント、定期考査
2 学期	9	中間	評論 「ものごとくば」	・抽象的見解とその具体例からなる文章展開を学ぶ。 ・問題提起と発展的考察の関係を読み解く。	○	○	○	○	○	授業態度、発問評価 プリント、定期考査	
	11	期 末	短歌「短歌を創作しよう」 小説「城の崎にて」	・短歌を創作して、歌物語を作って、他者と鑑賞し合う。 ・文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み取る。 ・本文をもとにして、「生と死」に対する自分の考えを深める。	○	○	○	○	○	授業態度、発問評価 プリント、定期考査	
	9	中間	「伊勢物語」 ・芥川・東下り ・筒井筒	・和歌のやりとりによって深まる登場人物の思いを理解する。 ・和歌の修辭法について理解する。 ・登場人物の行動について、互いに批評し合う。	○	○	○	○	○	授業態度、発問評価 プリント、定期考査	
	11	期 末	「土佐日記」・門出・帰京	・日記の書き手と注目し、表現や文体の特色について理解する。 ・古語や文法に留意して、内容を正確に捉える。	○	○	○	○	○	授業態度、発問評価 プリント、定期考査	
	9	中間	史伝「晏子の御」「鶏口牛後」	・史伝に登場する人々の人物像を読み取り、文章を読み味わう。 ・中国の戦国時代の時代背景について理解する。	○	○	○	○	○	授業態度、発問評価 プリント、定期考査	
	11	期 末	文章「雑説」 思想「論語」、「孟子」	・孔子・孟子が理想とした生き方・人との関わり方を読み取る。 ・論理構成と比喩表現を押さえ、筆者の主張を読み取る。	○	○	○	○	○	授業態度、発問評価 プリント、定期考査	
3 学期	1	学 年 初 め	随想 「ゆずる物腰ものほしげ」	・随想的文章を読み慣れ、作者のものの感じ方を捉える。 ・文章の内容を叙述に即して的確に読み取る。 ・文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえる。 ・語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解する。	○	○	○	○	○	授業態度、発問評価 プリント、定期考査	
	2	学 年 末	「枕草子」 ・雪のいと高う降りたるを ・中納言参り給ひて 「平家物語」・木曾の最期	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・文語のきまりや語句の意味を理解する。 ・敬語表現に注意して、人物関係を的確に捉える。	○	○	○	○	○	授業態度、発問評価 プリント、定期考査	
	3	学 年 末	唐詩 絶句「静夜思」「涼州詞」 律詩「月夜」「八月十五夜～」 文章・雑説	・唐詩のきまりごとについて理解する。 ・詩に込められた作者の思いや場面情景を的確に読み取る。 ・文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 ・訓読のきまりについて理解する。	○	○	○	○	○	授業態度、発問評価 プリント、定期考査	

教科名	科目名	履修学年	対象学科	単位数
公民	現代社会	1年	普通科	2

1. 学習の目標

- ① 現代社会の政治の仕組みを理解する。
- ② 現代社会の経済の仕組みを理解する。
- ③ 現代社会の問題を分析的に考え、それに対応していく判断力を形成する。

2. 教科書

東京書籍 「現代社会」

3. 副教材等

とうほう 「フォーラム現代社会」
東京書籍 「要点マスター現代社会演習ノート」

4. 授業の進め方

教科書・資料集・問題集・プリントを組み合わせる授業を進めます。

5. 確かな学力を身につけるためのアドバイス

まず基本は、毎回の授業を真剣に聞くことです。授業前に教科書に目を通しておくと、授業中の説明がずっとわかりやすくなります。授業中は、黒板の内容を書き取るだけでなく、口頭での説明のポイントをメモしていくと内容が記憶しやすくなります。また、重要箇所については、教科書・プリントなどにラインを引いたり、マーキングをしておくと復習が容易になります。授業中、疑問に思ったことは、積極的に質問して、早めに解決しておきましょう。

6. 評価方法・考査・テスト・課題等

考査の成績、問題集やプリント等提出物の内容、学習活動への参加の態度などで評価します。

7. その他の留意点

「現代社会」は、現実の生活と直結した事柄を学ぶ科目です。この科目の理解を深めるためには継続的に新聞を読んだり、テレビのニュース番組を見たりすると効果的です。

現代社会 年間学習計画表

	学習項目 (単元)	学習内容	評価の観点				評価方法
			関心 意欲 態度	思考 判断 表現	技能	知識 理解	
1 学 期	第2部 現代の社会と人間 4. 現代の経済と国民福祉 ① 経済のしくみ	◎経済のメカニズムを詳しく学びます。 ・経済社会の変容, 現代の企業, 市場経済のしくみ, 国民所得と経済成長, 金融のしくみと働き, 中央銀行の役割と金融の自由化, 政府の役割と財政 ・戦後復興と高度経済成長, 産業構造の転換と国際経済環境の変化, 経済のバブル化とその後, 日本経済の現在, 中小企業と農業 ・自立した消費者への道, 労働者の権利, 現代の雇用と労働問題, 社会保障の役割, 環境保全と循環型社会	○	○	○	○	授業態度 発問評価 ノート評価 定期考査
	② 変化する日本経済						
	③ 豊かな生活の実現						授業態 発問評価 ノート評価 定期考査
2 学 期	5. 国際社会と人類の課題 ① 国際経済のしくみと動向	◎国際化の経済にもたらす影響を詳しく学びます。 ・貿易と国際分業, 外国為替のしくみと国際収支, 戦後国際経済の枠組みとその変化, 対立と強調の時代, グローバル化の進展	○	○	○	○	授業態度 発問評価 ノート評価 定期考査
	② 国際政治のしくみと動向	・国際社会の成り立ち, 国際紛争を避けるしくみ, 国際連合の現状と課題, 東西対立とその後の世界, 核兵器と軍縮への取り組み					
	③ 国際社会の現状と課題	・地域統合の進展, 多様化する世界経済, 南北問題, 人口・資源・食料問題, 民族問題と紛争, 国際社会と人権, 日本の役割					
3 学 期	2. 日本国憲法と民主政治 ①民主政治とは	◎民主政治の原則をしっかりと把握し, 日本の政治のしくみを詳しく学びます。 ・民主政治の成立, 基本的人権の確立, 世界の政治体制	○	○	○	○	授業態度 発問評価 ノート評価 定期考査
	②日本国憲法の基本原理	・日本国憲法と3つの原理, 基本的人権の保障, 新しい人権と人権保障の進展, 平和主義と安全保障					
	③日本の政治機構	・国会と立法, 内閣と行政, 裁判所と司法, 地方自治					
3 学 期	④現代政治の特質と課題	・選挙のしくみと課題, 政党と利益集団, 世論と政治参加					
	3. 個人の尊重と法の支配 ① 個人の尊重と法の支配	・法の支配と人権, 市民生活と法, 司法と人権, 他者とともに生きる	○	○	○	○	授業態度 発問評価 ノート評価 定期考査
	第3部 ともに生きる社会をめざして	◎現代社会の課題について学びます。 ・若者の労働環境をどう改善するか, ゴミの分別・回収の負担の意義とは, 安心して豊かに暮らせる社会にするには, 発展途上国の開発をうながす貿易のありかた, エネルギーを持続的に利用可能にするには, 少子高齢社会における世代間格差をどうするか					

教科名	科目名	履修学年	対象学科	単位数
数 学	数学Ⅰ・A・Ⅱ	1 年	普通科	3 + 2 + 1

1 学習の目標

数学Ⅰでは「数と式」「集合と命題」「2次関数」「図形と計量」「データの分析」の5領域，数学Aでは「場合の数と確率」「図形の性質」「整数の性質」の3領域，数学Ⅱでは「式と証明」の1領域について学習する。それらの領域の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばす。さらには，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

高校数学の基礎ともいえる数学Ⅰ・Aの内容を習得することにより，後の数学Ⅱ・B，数学Ⅲを学ぶ基礎学力をつける。さらには，大学入試に対応できる能力を身につける。

2 教科書

改訂版 高等学校 数学Ⅰ（数研出版）

改訂版 高等学校 数学A（数研出版）

改訂版 高等学校 数学Ⅱ（数研出版）

3 副教材等

改訂版 4プロセス 数学Ⅰ + A（数研出版）

改訂版 4プロセス 数学Ⅱ + B（数研出版）

増補改訂版 チャート式 基礎からの数学Ⅰ + A（数研出版）

増補改訂版 チャート式 基礎からの数学Ⅱ + B（数研出版）

4 授業の進め方

各クラスで一斉授業の形態で行う。

5 確かな学力を身につけるためのアドバイス

「予習」→「授業」→「復習」のサイクルで取り組む。予習は教科書の内容に目を通し，疑問や質問事項をもって授業を受けると理解が深まる。復習は，授業で学習した内容の問題演習を必ず毎日行う。具体的には問題集の中から，まず『A問題』をその日のうちに解き，土日や考査前に『B問題』『応用問題』まで完成させる習慣をつける。

6 評価方法・考査・テスト・課題等

中間考査，期末考査，一斉テスト，および長期休業明けに行われる課題考査の点数を基準とする。また，課題等の提出状況，授業態度等を加味し総合的に判断して評価する。

7 その他の留意点

県模試やその他のテストに向けては，指示された問題やその都度与えられた問題集にしっかりと取り組む。

数学 I・A・II 年間学習計画表

学期	月	テスト計画	科目	単元および学習内容	評価の観点				評価方法
					関	見	技	知	
一	4	中間考査	I	第1章 数と式 第1節 式の計算	○	○	○	○	課題提出 小テスト・発表 ノート 考査
	5			第2節 実数 第3節 1次不等式 章末問題	○	○	○	○	
	6		I	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	○	○	○	○	
7	第2節 2次関数の値の変化 第3節 2次方程式と 2次不等式 章末問題	○		○	○	○			
二	8	課題考査	I	第2章 集合と命題	○	○	○	○	考査 課題提出 小テスト・発表 ノート テスト
	9			第5章 データの分析	○	○	○	○	
	10		A	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	○	○	○	○	
11	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形 章末問題	○		○	○	○			
三	1	課題考査	A	第3章 整数の性質 第1節 約数と倍数	○	○	○	○	考査 課題提出 小テスト・発表 ノート テスト
	2			第2節 ユークリッドの互除法 第3節 整数の性質の活用 章末問題	○	○	○	○	
	3	学年末考査	II	第1章 式と証明 第1節 式と計算 <課題学習>	○	○	○	○	考査

※ 評価の観点

〔関〕：関心・意欲・態度	〔見〕：数学的な見方や考え方	〔技〕：数学的な技能	〔知〕：知識・理解
考え方に興味を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。

教科名	科目名	履修学年	対象学科	単位数
理科	物理基礎	1年	普通科	2

1. 学習の目標

テレビ、携帯電話、自動車など、私たちの生活を楽しく豊かにしてくれる製品の多くに物理の知識が利用されています。物理は自然科学の基礎であり、さまざまな分野に応用されています。身近な現象から不思議を感じ取り、観察・実験を通して理科に対する理解を深め、自然科学（物理）の考え方を学びましょう。そして、私たちの未来を切り拓く、自然科学の理解への第1歩をこの1年間の授業で歩みだして欲しいと思います。

物理基礎は、次の2点を目標に基礎的な内容を学習します。

- ① 物理的な事象・現象について、自然に対する関心や探究心を高めます。
- ② 物理学的に探究する能力と態度を育て、基本的な概念や原理、法則を理解し、科学的な自然観を育てます。

2. 教科書

改訂版 新編 物理基礎（数研出版）

3. 副教材等

物理基礎学習ノート（数研出版）

物理基礎準拠ノート 教科書の整理（数研出版）

4. 授業の進め方

基本的に教科書に沿った内容です。複数の単元にまたがった事象などはまとめて学習をします。授業中の板書をノートに取り、講義の内容をしっかりと理解してください。単元のまとめや思考力を要する内容は演習を行いながら進めていきます。また、授業を欠席することがないようにしてください。

5. 確かな学力を身につけるためのアドバイス

- ・授業で学習するさまざまな物理現象を、身近な事柄に結びつけて考えるとさらに理解が進みます。
- ・ノートは、板書をそのまま写すだけでなく、自分なりに分かりやすく工夫して記入し、疑問に感じた点や追求したい事柄をメモしておくことで学習に広がりが生れます。
- ・問題集を積極的に解いて学習内容の定着を図ると良いでしょう。予習と復習が基本です。予習をし、今日学習する内容では「何が分かっている、何が分からないのか」ということを準備して授業に臨むことが大切です。また、知識を積み上げていくため、必ず復習をして語句や定義、法則や考え方などは授業があった日に理解をしてください。また、学習の定着のために問題集を利用して、たえず知識の確認をしていくことが大切です。宿題に関しては、指示された内容は必ず期日までに仕上げるのが大切です。

6. 評価方法・考査・テスト・課題等

学習活動への参加の仕方や態度、授業で使用するプリントなど課題の提出状況、授業中のノートで評価します。

7. その他の留意点

よく考えるためには、よく聞くことも大切です。授業を理解するためには分からないことを放置せず、自分で調べるなり質問することを怠らないようにしましょう。また、問題を解くことで弱点や課題が見つかります。学ぶことはまねることから始まります。正しい考え方をしっかりと自分のものとしてください。そのためにも、新しいことを学んだ後は必ず問題演習を通して知識の整理を行ってください。

物理基礎 年間学習計画表

学期	月	単 元	内 容	評価の観点				評価方法
				関心・ 意欲・ 態度	思考・ 判断・ 表現	観察・ 実験の 技能	知識・ 理解	
1 学期	4	第4編 電気 第1章 物質と電気抵抗	静電気現象の観察からはじめ、電圧・電流・電気抵抗の間に成り立つオームの法則について学ぶ。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価 レポート, 定期考査
	5	第2章 磁場と交流	家庭で使用されている交流電圧について学ぶ。電磁波には電波, 赤外線, 可視光線, 紫外線, X線, γ 線が含まれ, 波の性質をもっていることを学ぶ。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価 レポート, 定期考査
	6	第5編 物理学と社会 第1章 エネルギーの利用 第2章 物理学が拓く世界	エネルギーには, いろいろな種類のエネルギーがあることを学ぶ。エネルギー資源には一次エネルギーと二次エネルギーがあることも学ぶ。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価 レポート, 定期考査
2 学期	9	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方	速さ・加速度の概念を学び, 等加速度直線運動を理解する。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価 レポート, 定期考査
	10	第2章 運動の法則	ニュートンの運動の3法則を理解し, さらに摩擦力や圧力などのさまざまな力について学ぶ。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価 レポート, 定期考査
	11 12	第3章 仕事と力学的エネルギー	仕事についての定義および仕事と力学的エネルギーの関係を学ぶ。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価 レポート, 定期考査
3 学期	1	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー	物質の固体, 液体, 気体の3つの状態および熱運動, 熱力学第一法則, 熱機関の効率について理解する。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価 レポート, 定期考査
	2	第3編 波 第1章 波の性質	横波・縦波の違いを理解し, 波の重ねあわせの原理についても理解する。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価 レポート, 定期考査
	3	第2章 音	空間を伝わる音波は空気を媒質とする縦波であることを学ぶ。また, 弦の振動や気柱の振動, 共振・共鳴についても理解する。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価 レポート, 定期考査

教科名	科目名	履修学年	対象学科	単位数
理科	生物基礎	1年	普通科	2

1. 学習の目標

- (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、遺伝子・健康・環境などを考えるために必要な科学的素養を高める。
- (2) 観察・実験などを通して、生物や生命現象を探究する方法や姿勢を身につける。
- (3) 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解することで科学的な見方や考え方を養うとともに、生命に対する畏敬の念を育む。

2. 教科書

高等学校 改訂 生物基礎 (東京書籍)

3. 副教材等

レッツトライノート生物基礎 (東京書籍)
改訂版スクエア最新図説生物neo (第一学習社)

4. 授業の進め方

教科書の記載内容に沿って、基礎・基本項目を中心に授業を進めます。また、単元によっては、発展的な内容も取り扱います。複数にまたがった事象は、教科書内容をまとめて学習します。また、単元のまとめや思考力を要する内容は、個別またはグループによる演習を行いながら進めていきます。単元の内容により、観察・実験を実施することもあります。

5. 確かな学力を身につけるためのアドバイス

- (1) 授業で学習する様々な生物現象を、身近な事柄に結びつけて考えましょう。
- (2) 板書事項をそのまま写すだけでなく、自分なりに分かりやすく工夫して記入し、疑問に感じた点や追求したい事柄をメモしておき、学習内容を広げましょう。
- (3) 観察・実験には関心・意欲を持って取り組み、実験の技能を習得しましょう。
- (4) 問題集を自主的・積極的に解いて、学習内容の定着を図りましょう。
- (5) 課題等は、期日を守って提出しましょう。

6. 評価方法・考査・テスト・課題等

定期考査の成績を中心に、授業ノートやプリント・問題集等の課題提出状況、学習活動への取り組み具合などを総合的に判断して評価します。

7. その他の留意点

よく考えるためには、何よりもよく聞くことが大切です。授業内容をよりよく理解するために、疑問に思ったことを放置せず、教科書の精読はもちろん、指導者や友人に聞くなり、自分で調べるなりして解決を図りましょう。また、演習問題をこなすことで自身の弱点や新たな疑問点が鮮明になります。学ぶことはまねることから始まります。正しい知識と考察力・思考力を、授業や演習を通してしっかりと身につけてください。そのためにも、新しいことを学んだ後は必ず問題演習に取り組み、知識の定着と整理を図るようにしましょう。

生物基礎 年間学習計画表

学期	月	単元	内容	評価の観点				評価方法
				関心・ 意欲・ 態度	思考・ 判断・ 表現	観察・ 実験の 技能	知識・ 理解	
1 学期	4	第1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性	・地球上に生息する多様な生物は基本的には共通する構造や仕組みを持っており、共通した祖先から生じた結果であることを学習する。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価レポート, 定期考査
	5	2章 生命活動とエネルギー	・生命現象にはエネルギーが必要であり, それには酵素が関わる光合成や呼吸が関係することを学習する。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価レポート, 定期考査
	6	第2編 遺伝子とそのはたらき 1章 生物と遺伝子	・遺伝情報はDNA と呼ばれる核酸分子中に含まれていることを学習する。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価レポート, 定期考査
	7	2章 遺伝情報の分配 3章 遺伝情報とタンパク質の合成	・DNA は複製され, 体細胞分裂で母細胞から娘細胞に伝達されることを学習する。 ・DNA をもとに, 生命現象を支えるタンパク質がつくられることを学習する。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価レポート, 定期考査
2 学期	9	第3編 生物の体内環境の維持 1章 体内環境	・生体内では体液が循環し体内環境が一定に保たれていることを学習する。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価レポート, 定期考査
	10	2章 体内環境の調節	・自律神経やホルモンによって体内環境が一定に保たれているしくみを学習する。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価レポート, 定期考査
	11	3章 免疫	・脊椎動物に備わる体内環境に侵入してきた微生物などを排除する免疫のしくみについて学習する。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価レポート, 定期考査
	12							
3 学期	1	第4編 生物の多様性と生態系 1章 植生の多様性と分布	・地球上には気候に対応したバイオームが発達することを学習する。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価レポート, 定期考査
	2							
	3	2章 生態系とその保全	・生態系のバランスを保つことは人間生活にとって重要であることを学習する。	○	○	○	○	授業態度, 発問評価レポート, 定期考査

教科名	科目名	履修学年	対象学科	単位数
保健体育	体育	1	普通科	2

1. 学習の目標

体育の授業では、「体力の向上を図り、心身ともに調和のとれた発達を目指すとともに、自主的な活動を促し、運動の生活化へと発展させる」を目標としています。

誰でも思いきり身体を動かした後では、気分が爽快になるものです。自ら積極的に身体を動かすことで、生涯にわたって運動に親しもうとする習慣を育成し、心身の健康を保持増進するための実践力・体力を養うことを目指して、体育の授業を行います。

運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たすなどの意欲を育てます。

2. 授業の内容・進め方

ランニング・準備体操・補強運動のあと、整列をして挨拶。その後、授業の内容に入ります。1年生では、それぞれの種目の基礎基本となる技術・技能の習得と体力の向上を目指します。

3. 履修上の注意

- 体育委員が指示し、チャイムとともに体操を始めることができるように、全員が迅速に準備し、協力して授業を進める。
- 高校生として行動・発言し、挨拶をしっかりする。
- 指導者の指示に従い、けがの防止に努める。
- 自分の体操服、運動靴で授業に参加する。（他人の物を無断で使うことのないように）

4. 評価方法・考査・テスト・課題等

評価は、授業に対する取り組み（関心・意欲・態度）と、それぞれの種目の基礎基本となる技術・技能，知識・理解を総合的に判断して評価します。

個人の取り組みだけでなく、集団の中で自身の役割を全うし、他者との対話，協力をしながら自身の技能・体力を高めることが重要です。

5. その他の留意点

欠課時数が実施した授業時数の1／3を上回る場合は、欠点となります。

体育 年間学習計画表

学期	男子		女子	
1	陸上	サッカー	陸上	バスケットボール
	体育理論		体育理論	
2	バレーボール	柔道	マット運動	バレーボール
	体育理論		体育理論	
3	バレーボール	体づくり	ダンス	体づくり
	体育理論		体育理論	

種目	学習内容	評価方法	評価の観点
体育理論	スポーツの始まり・文化としてのスポーツ	受講状況観察 チェックシート	関心・意欲・態度・知識
	オリンピックと国際理解・スポーツと経済		
	ドーピングとスポーツ倫理		
陸上	短距離	受講状況観察・測定	技能・関心・意欲・態度 ・知識・思考・判断
	長距離		
	投擲		
	体力テスト		
マット運動	接転技（前転，開脚前転，伸膝前転，とび前転，後転，開脚後転，伸膝後転，後転倒立）	受講状況観察	技能・関心・意欲・態度 ・知識・思考・判断
	翻転技（側方倒立回転，ロンダート，首はねおき，前方倒立回転とび，後転とび）		
	発表会，審査	技能テスト	技能
柔道	礼法，姿勢と組み方，崩し，進退動作，体さばき，受け身	受講状況観察	技能・関心・意欲・態度 ・知識・思考・判断
	投げ技：足技，手技，腰技 固め技：けさ固め，上四方固め，横四方固め		
	簡易試合：ルールと審判法，投げ技の試合，固め技の試合		
ダンス	フォークダンス	受講状況観察 チェックシート	技能・関心・意欲・態度 ・知識・思考・判断
	現代的なリズムダンス（ヒップホップ，エアロビクス）		
	小作品づくり，発表会		
バレーボール	ボールに慣れる パス（オーバー，アンダー），サービス，スパイク	受講状況観察 技能テスト	技能・関心・意欲・態度 ・知識・思考・判断
	簡易ゲーム		
バスケットボール	パス，ドリブル シュート，フェイント	受講状況観察 技能テスト	技能・関心・意欲・態度 ・知識・思考・判断
	ディフェンスフットワーク，1対1		
サッカー	キック，ボールコントロール，ヘディング シュート	受講状況観察 技能テスト	技能・関心・意欲・態度 ・知識・思考・判断
	簡易ゲーム		
体づくり	体ほぐしの運動 体力を高める運動	受講状況観察	運動・関心・意欲・態度 ・知識・思考・判断

教科名	科目名	履修学年	対象学科	単位数
保健体育	保健	1年	普通科	1

1. 学習の目標

少子化や情報化など社会の急激な変化による近年の児童生徒の成育環境や生活行動の変化、国民の疾病構造等の変化にかかわって深刻化している心の健康、食生活をはじめとする生活習慣の乱れ、生活習慣病、薬物乱用、性に関する問題など現代社会における健康・安全の問題は多様化しており、児童生徒のみならず国民すべてにとって心身の健康の保持増進が大きな課題となってきました。

これらの問題に対処するために、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、健康に関する個人の適切な意志決定や行動選択及び健康的な社会環境づくりなどの重要性について理解を深めるとともに、生涯の各段階における健康課題への対応と保健・医療制度や地域の保健・医療機関の適切な活用及び社会生活における健康の保持増進について理解できるようにし、心身の健康の保持増進を図るための思考力・判断力などの資質や能力を育成していきます。

2. 教科書

現代高等保健体育（大修館書店）

3. 副教材等

図説 現代高等保健（大修館書店）

4. 授業の進め方

各クラス講義形式で行いますが、内容によっては、実習を行います。教室での授業が中心なので、しっかりノートを取ることが大切です。

教科書は1単元について1時間を目安に授業を進めます。

5. 確かな学力を身につけるためのアドバイス

週1回の授業ですので、教科書やノートを忘れないようにしましょう。

授業の前日に教科書に目を通し、学習する内容を予習しておくこと、より理解できます。

進度に余裕がある場合は、普段の学習をより深めるため、課題学習を行います。

6. 評価方法・考査・テスト・課題等

保健の考査は、1・2学期末考査、学年末考査の合計3回実施します。評価は、考査の成績はもちろんですが、授業に取り組む姿勢や実習状況・課題の提出状況などを総合的に判断して評価します。

保健 年間学習計画表

月	進度 (項目)	学習のねらい	評価方法	評価の観点		
				関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
4	1 1 単元 現代社会と健康	オリエンテーション	受講状況観察	○		
	1 私たちの健康のすがた	わが国における健康水準の変化, わが国における健康問題の変化について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	2 健康のとらえ方	健康についての多様な考え方, 健康の成り立ちとその要因について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
5	3 健康と意志決定・行動選択	意志決定・行動選択とそれに影響を与える要因, 健康的な意志決定・行動選択を実現する工夫について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	4 健康に関する環境づくり	健康づくりを支える環境, ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりについて理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
6	特 歴史から見たさまざまな健康問題のとらえ方	健康観の変遷について, 歴史的な背景を踏まえ, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	5 生活習慣病とその予防	生活習慣病について呼称の由来や病例を説明することができ, また, 生活習慣病の予防について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	6 食事と健康	健康的な食生活の重要性と意義, 健康的な食生活習慣の形成について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
7	7 運動と健康	健康から見た運動の意義, 健康づくりのための運動習慣の形成について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	8 休養・睡眠と健康	健康から見た休養・睡眠の意義, 健康から見たよりよい休養・睡眠のとり方について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	9 喫煙と健康	喫煙の健康影響, 喫煙開始の要因と依存性, 喫煙に対する日本や世界の対策について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
			期末テスト		○	○
9	10 飲酒と健康	飲酒による健康への短期的および長期的影響, 飲酒の開始要因と社会問題, 飲酒の健康被害を防ぐさまざまな対策について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	11 薬物乱用と健康	薬物乱用や薬物依存による健康への悪影響, 薬物開始要因と社会問題, 薬物乱用防止による健康被害を防ぐさまざまな対策について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	特 健康にかかわる行動を考えてみよう	望ましくない習慣をやめる, 望ましくない周囲の圧力をはね返す, などの状況を設定し, ブレインストーミングやロールプレイなどの方法を使って意志決定・行動選択をおこなってみる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
10	12 現代の感染症	感染症, 新たに注目される感染症, 再び問題となっている感染症について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	13 感染症の予防	感染症予防の原則, 現代の感染症についての社会と個人に分けた対策について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	14 性感染症・エイズとその予防	性感染症・エイズとは何か, 性感染症・エイズについての個人と社会に分けた予防対策について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
11	15 欲求と適応機制	欲求と脳の働き, 人間のさまざまな欲求, 欲求不満に対処するための適応機制について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	16 心身の相関とストレス	心身相関のしくみとストレスの原因, ストレスの影響と心の健康について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
12	17 ストレスへの対処	ストレスの原因へのさまざまな対処法について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	特 ストレスに対処しよう	自分のストレスに気づき, その原因を考え, 発想の転換やリラクゼーションなどの対処法を実際におこなってみる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	18 心の健康と自己実現	自己実現と心の健康との関係, 自己実現の道すじと達成について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
			期末テスト		○	○
1	19 交通事故の現状と要因	交通事故の現状とその要因について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	20 交通社会における運転者の資質と責任	安全な運転のための資質, 交通事故の責任と補償について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
2	21 安全な交通社会づくり	安全な交通社会づくりのための法的な整備と施設・設備の充実, 車の安全性の向上について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	特 防災・防犯をめざした社会づくり	防災・防犯をめざした社会づくりのための法律や条例の整備, 施設・設備の充実, 情報の伝達・共有, 組織的な活動の実施について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
3	22 応急手当の意義とその基本	応急手当の意義やその手順について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	23 心肺蘇生法	心肺蘇生法の原理と意義, 心肺蘇生法の各手順について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	24 日常的な応急手当	けがの応急手当, 熱中症の応急手当について理解し, 説明することができる。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
	特 心肺蘇生法を実習しよう	心肺蘇生法をダミーを使って実際におこない, 技能を身につける。	受講状況観察 チェックシート	○	○	○
			期末テスト		○	○

教科名	科目名	履修学年	対象学科	単位数
芸術	音楽 I	1年	普通科	2

1. 学習の目標

- ・音楽の幅広い活動を通じて音楽を生涯愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的表現と鑑賞の能力を伸ばす。

2. 教科書

高校生の音楽 1 (教育芸術社)

3. 副教材

- ・高校生のための音楽研究ノート (教育芸術社)
- ・DVD CDなどの視聴覚教材を鑑賞時に使用します。

4. 授業の進め方

歌唱、器楽、創作、鑑賞を柱として、様々な音楽に触れあえるように進めていきます。アンサンブルなど、自主的に取り組むことのできる活動も取り入れ、自己評価表を提出します。

5. 確かな学力を身につけるためのアドバイス

- ・素直な心で音楽を愛好し、自ら学び、積極的な姿勢で授業に参加しましょう。
- ・いろいろなジャンルの音楽を聴き、感性を磨きましょう。
- ・互いに協力し、息を合わせ、高め合う気持ちを持ちましょう。

6. 評価方法・考査・テスト・課題等

定期試験は実施しませんが、授業中に行う実技テストや筆記テスト、発表の成果を評価します。また、それまでの練習の過程、関連したワークシート、自己評価表、感想文も重要です。普段の授業態度や欠席状況も評価の対象になります。

7. その他の留意点

- ・皆が協力して積極的に活動し、表現することを楽しみましょう。
- ・楽器や備品を大切に使いましょう。
- ・忘れ物をしないようにしましょう。

音楽Ⅰ 年間学習計画表

学期	月	単 元	学習内容	評価の観点				評価の方法
				関心 意欲 態度	思考 判断	技能 表現	知識 理解	
1 学期	4	歌 唱	歌唱に対する意欲を育て、伸び伸びと歌うことの楽しさを感じ取る。 校歌、「Santa Lucia」他	◎	○	○		観察 受講状況の確認 歌唱テスト
	5	音楽理論	基本的な音楽理論を習得する。 音符の書き方、読み方、音名、音楽用語、等		○		◎	ノートの提出 筆記テスト
	6	器 楽	キーボードの奏法を習得する。 アンサンブルの魅力を感じ取る。	○	○	◎	○	グループ発表 自己評価表
	7	鑑 賞 音楽史	オペラやミュージカルに関心を持ち、物語と音楽の関わりについて理解する。 その時代の楽曲の特徴や音楽様式について理解を深める。 古代～古典派時代までの音楽	◎			○	感想の提出 筆記テスト
2 学期	9	器 楽	ギター奏法を習得する。	◎	○	○	○	自己評価表 実技テスト
	10	音楽理論	コードを理解する。 メジャー、マイナー、セブンスコード		○	○	◎	ノートの提出 筆記テスト
	11	鑑 賞 音楽史	楽曲の特徴や魅力を感じ取るとともに、鑑賞の能力を高め、豊かな感性を養う。 その時代の楽曲の特徴や音楽様式について理解を深める。 ロマン派～近・現代の音楽	◎	○		○	感想の提出 筆記テスト
	12	歌 唱	歌詞の意味を理解し、曲に応じた歌い方を工夫する。 「この道」、「Heidenroslein」他	○	○	◎		観察 受講状況の確認
	1	創 作	リズムや旋律の流れ、ハーモニーを考えながら旋律を創作する。	◎	○	○	○	創作作品の提出
3 学期	2	鑑 賞 音楽史	日本の伝統音楽に興味・関心を持つ。 諸民族の様々な音楽や言語の特徴に興味・関心を持つ。 日本の伝統音楽（箏曲、三味線音楽、尺八曲） 諸民族の音楽	◎	○		○	感想の提出 筆記テスト
	3	歌 唱	声によるアンサンブルの楽しさを味わう。	○		◎		観察 受講状況の確認

教科名	科目名	履修学年	対象学科	単位数
芸術	美術 I	1年	普通科	2

1. 学習の目標

- ・美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2. 教科書

高校生の美術 1（日本文教出版）

3. 副教材等

ビデオなどの視聴覚教材や画集などを使用します。過去の生徒作品も参考作品として提示します。

4. 授業の進め方

絵画・彫刻，デザイン，映像メディア表現などの課題作品を各学期に提出します。主に，制作活動を中心に授業をすすめます。主題を決め，その意図をより効果的に表現するために，デッサンや色彩の表し方を工夫し，面や量感，質感などの造形的要素の理解を深め構想を練っていきます。また，課題に関連したワークシート・作品評価表・感想文などを提出してもらいます。

鑑賞については主にビデオや写真などの資料を用います。

5. 確かな学力を身につけるためのアドバイス

素直な心で表現し，主体的に作品に関わる姿勢が大切になります。上手に描いたり作ったりすることも大切ですが，さらに自分が感じたことや思ったことをどのようにイメージして深めるか，いかに個性的に表現するかも重要になります。

6. 評価方法・考査・テスト・課題等

定期試験は実施しませんが，作品の提出日を設定し，必ず作品を仕上げて提出してもらいます。作品と，それに関連したワークシート・作品評価表・感想文などを通して作品と自分がどう関わったかを参考に評価します。

授業態度や欠席状況も評価の対象となります。

7. その他の留意点

授業を受けるにあたって，次のことを守ってください。チャイムまでに教材・用具の準備をし，着席をする。私語を慎み，集中して制作をする。提出物の期限は守る。

美術 I 年間学習計画表

学期	月	単元	学習内容	評価の観点				評価の方法
				関心 意欲 態度	発想 構想	創造 技能	鑑賞 能力	
1 学期	4	オリエンテーション	小、中の図工・美術の学習を振り返り、高校の美術 I のイメージを持ち、美術の学びの意味や広がりについて考える。	○			○	観察
	5	人類創造（想像して創造する）	想像を働かせてイメージを湧出させ、主題を生成する。	○	○	○		観察 提出作品 作品評価表
	6	自分の名前をデザインしよう	独創的なアイデアを生かし、文字デザインを工夫して考える。 色彩が身近な環境で果たす役割を理解し、美しさを考慮して表現を構想する。 ガッシュの美しさを生かした着彩方法を習得する。	○	○	○	○	観察 ワークシート 提出作品 作品評価表
	7							
2 学期	9	日本美術の鑑賞	日本美術の美意識や自然観などを理解し表現の方法や形体、題材等に着目し魅力、広がり、つながりを鑑賞する。	○			○	観察
	10	グループでアニメーション作品をつくろう	グループで話し合いをしながらストーリーを考え、アニメーション作品を制作する。	○	○	○	○	観察 ワークシート 提出作品 作品発表 自己評価表
	11	自分の心を抽象彫刻で表現しよう	自分のところを見つめてその形状を想像し、イメージと重ね合わせながら独創的な形を彫り出す。	○	○	○	○	観察 ワークシート 提出作品 作品評価表
	12							
3 学期	1	鳥獣戯画をアレンジして日本画で描こう	日本画の技術的な特色や日本画画材の特質を理解し、基本的な技術を身に付ける。漫画の原型ともいわれる鳥獣戯画を、より面白く独創的な作品にできるようアレンジする。	○	○	○	○	観察 ワークシート 提出作品 作品評価表
	2							
	3	美術学習のまとめ	これからの美術との関わりを考え「美術とは何か」について1年間の学習とともに振り返る。	○	○			観察 感想提出

教科名	科目名	履修学年	対象学科	単位数
芸術	書道 I	1 年	普通科	2

1. 学習の目標

- ・小・中学校国語科書写の学習を基礎として、表現及び鑑賞など書道の活動を通して書を愛好する心情を育てる。
- ・日本、中国独特の文化である書道に親しみ、理解を深める。
- ・古典の臨書を通し、幅広い書道の知識、技能を修得し、主体的な作品創作ができるようにする。

2. 教科書

書道 I (東京書籍)

3. 副教材等

- ・授業内容に沿った「五体字類」などの字典

4. 授業の進め方

なじみのある「漢字」の学習から始める。「楷書」の学習の後、「隷書」の学習をし、「行書」「仮名」の学習をする。漢字と仮名の学習は古典の臨書が中心となる。

5. 確かな学力を身につけるためのアドバイス

素直な心で表現し、主体的に関わる姿勢が大切です。上手に書くことは大切ですが、上達したいという意欲と積極的に授業に参加することが何よりも重要です。

6. 評価方法・考査・テスト・課題等

定期試験は実施しないが、作品の提出日を守り、必ず作品を仕上げて提出すること。授業態度や欠席状況も評価の対象となります。

7. その他の留意点

チャイムまでに教材・用具の準備をし、着席をする。私語を慎み、集中して制作をする。提出物の期限を守る。
半紙、墨などの準備物は不足することがないように余裕をもって準備すること。

書道 I 年間学習計画表

学期	月	単元	学習内容	評価の観点				評価方法
				関心 意欲 態度	思考 判断	技能 表現	知識 理解	
1 学期	4	オリエンテーション	書道 I で何を学ぶか、書道の学習内容に関心を持たせ、目的意識を明確にする。内容、評価について理解する。	○				観察
		●書写から書道へ	基本的な用具、用材、執筆法、用筆法などの学習する。	○	○	○	○	観察 提出作品
	5	●漢字の書楷書の学習	・臨書 「九成宮禮泉銘」「孔子廟堂碑」「雁塔聖教序」「自書告身」「牛概造像記」「鄭義下碑」の臨書を通し楷書の幅広い表現技法を習得する。	○	○	○	○	観察 提出作品
	6	隷書の学習	・臨書 「曹全碑」の臨書を通し、隷書の基本的技法を習得する。	○	○	○	○	観察 提出作品
	7	創作	・創作（倣書） 学習した楷書か隷書の技法を使った作品の創作	○	○	○	○	観察 提出作品 自己評価表
		行書の学習	・臨書 「蘭亭序」の全臨をすることにより、行書の特徴を理解し、表現技法を習得する。	○	○	○	○	観察 提出作品 自己評価表
2 学期	9							
	10							
	11	●篆刻	姓名印の創作を通し、印の意味を理解し、篆刻の手順を習得する。	○	○	○	○	観察 提出作品
	12	創作	・創作 楷書、行書、隷書による条副作品を創作する。	○	○	○	○	観察 提出作品 自己評価表
3 学期	1	●仮名の書	ひらがな、変体仮名、連綿の学習を通して、仮名の基本的技法を習得する。	○	○	○	○	観察 提出作品
	2		・臨書 高野切第一種 高野切第三種 ・創作 散らし書きを使った作品制作					
	3	●漢字仮名交じりの書の学習	・漢字と仮名の調和を図りながら、校歌を作品にする。	○	○	○	○	観察 提出作品 自己評価表

教科名	科目名	履修学年	対象学科	単位数
英語	コミュニケーション英語 I	1年	普通科	4

1. 学習の目標

- ・英語で書かれた文章を読んで、筆者の主張やメッセージを読みとる。
- ・中学校での学習事項にさらに習熟し、さらに語彙・文法・表現について学習する。
- ・英語の読解・作文に必要な基礎的な文法力を身につける。

2. 教科書

Revised ELEMENT English Communication I (啓林館)

3. 副教材等

Revised ELEMENT English Communication I WORKBOOK (啓林館)

4. 授業の進め方

授業は予習をしていることを前提に進める。予習は、新出単語を辞書で調べる、ワークシートに取り組む、問題を前もって解くなど、自力で取り組むことを求める。授業では、予習でわからなかったこと、疑問に思ったことを中心にしっかりと聞き、ノートをとること。答えを写しているだけでは、真の力は絶対につかない。家庭ではその日の授業の内容を復習し、理解を完全なものにすること。

5. 確かな学力を身につけるためのアドバイス

授業は予習を前提として進めるので、辞書を使って事前に学習しておく。授業中は積極的に声を出して、繰り返し単語の発音や音読の練習をする。言語活動に積極的に取り組み、英語を多く使うようにする。

6. 評価方法・考査・テスト・課題等

評価は中間と期末の定期考査の成績、課題考査の成績、ノート・ワークブックなどの提出物、小テストの成績を総合的に評価する。

7. その他の留意点

辞書を必ず用意する。

授業で扱う範囲の予習は最低限行って授業に臨む。

提出物は必ず期限を守る。

コミュニケーション英語 I 年間学習計画表

月	進度 (項目)	指導内容	評価方法	評価の観点
4	Lesson 1 Rakugo in English!	<p><題材内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・かい枝さんが英語落語を始めた経緯を学ぶ。 ・かい枝さんが英語落語を通じて学んだことを考える。 ・自己紹介をし、自分の好きな活動について書く。 <p><文法事項></p> <p>英語の5文型, to不定詞と動名詞について学ぶ</p>	授業に対する意欲 発表 課題等の提出 小テスト, 中間考査	関心意欲態度 表現の能力 理解の能力 知識理解
5	Lesson 2 Christian the Lion	<p><題材内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョンとエースのライオンとの生活について学ぶ。 ・これまでにペットを飼ったことがあるか、その経験または希望について話し合う。 <p><文法事項></p> <p>現在完了形, 受動態, 分詞の限定用法について学ぶ。</p>	授業に対する意欲 発表 課題等の提出 小テスト, 中間考査	関心意欲態度 表現の能力 理解の能力 知識理解
6	Lesson 3 Predictions of the Future	<p><題材内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アシモフが未来を予言した内容について理解する。 ・世界の科学者たちが未来を予言した内容について理解する。 ・50年後の世界がどうなっているか、自分の考えを述べる。 <p><文法事項></p> <p>S+V+O (疑問詞節・if節), 関係代名詞について理解する。</p>	授業に対する意欲 発表 課題等の提出 小テスト, 期末考査	関心意欲態度 表現の能力 理解の能力 知識理解
7	Lesson 4 Twice Bombed, Twice Survived	<p><題材内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バラク・オバマの演説の内容を学ぶ。 ・自分の使命は何かについての意見を文章に書く。 <p><文法事項></p> <p>S+V+C (分詞), S+V (知覚・使役動詞) +O+C (原形不定詞・分詞), 過去完了形について理解する。</p>	授業に対する意欲 発表 課題等の提出 小テスト, 期末考査	関心意欲態度 表現の能力 理解の能力 知識理解
9	Lesson 5 Umami	<p><題材内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・うま味とはどのようなものかを理解する。 ・うま味が健康にどのような影響を及ぼすかを理解する。 ・アメリカの友人に和食について説明する手紙を書く。 <p><文法事項></p> <p>助動詞+受動態, 要求・提案などを表す動詞のthat節における動詞の原形, 関係代名詞のwhatについて理解する。</p>	授業に対する意欲 発表 課題等の提出 小テスト, 中間考査	関心意欲態度 表現の能力 理解の能力 知識理解
10	Lesson 6 The Story of PlayPumps	<p><題材内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレイポンプの計画について理解する。 ・プレイポンプの失敗から学べることを理解する。 ・水不足を解決するための計画について調べ、発表する。 <p><文法事項></p> <p>関係代名詞の非限定用法, 形式主語のitについて理解する。</p>	授業に対する意欲 発表 課題等の提出 小テスト, 中間考査	関心意欲態度 表現の能力 理解の能力 知識理解
11	Lesson 7 Biomimetics	<p><題材内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイオミメティクスはどのような学問か学ぶ。 ・自然を守るために何をすべきかについて考えを述べる。 <p><文法事項></p> <p>現在完了進行形, 関係副詞, 形式目的語のitについて学ぶ。</p>	授業に対する意欲 発表 課題等の提出 小テスト, 期末考査	関心意欲態度 表現の能力 理解の能力 知識理解
12	Lesson 8 The Power of Presentation	<p><題材内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年東京オリンピック招致のプレゼンテーションにニックが協力することになった経緯を理解する。 ・自分の学校について中学生に説明する。 <p><文法事項></p> <p>仮定法過去, 仮定法過去完了について理解する。</p>	授業に対する意欲 発表 課題等の提出 小テスト, 期末考査	関心意欲態度 表現の能力 理解の能力 知識理解
1	Lesson 9 Bopsy	<p><題材内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防士がボプシーの部屋に集まった経緯を考える。 ・自分の夢についてスピーチ原稿を書き発表する。 <p><文法事項></p> <p>仮定法を含む表現, seem [appear] to do について理解する。</p>	授業に対する意欲 発表 課題等の提出 小テスト, 学年末考査	関心意欲態度 表現の能力 理解の能力 知識理解
2	Lesson 10 Playing the Enemy	<p><題材内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アフリカの黒人と白人が親密になるために、マンデラがスポーツを利用しようとした経緯を考える。 ・スプリングボックスが南アフリカのために戦おうという決意に至った経緯を考える。 ・アパルトヘイト政策中の南アフリカの写真を見て、写真からわかる南アフリカの様子を書く。 <p><文法事項></p> <p>過去完了進行形, 進行形の受動態, 分詞構文について理解する。</p>	授業に対する意欲 発表 課題等の提出 小テスト, 学年末考査	関心意欲態度 表現の能力 理解の能力 知識理解
3				

教科名	科目名	履修学年	対象学科	単位数
英語	英語表現 I	1年	普通科	2

1. 学習の目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

具体的な言語活動は次の通り。

ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。

イ 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。

ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。

2. 教科書

Revised Vision Quest English Expression I Advanced (啓林館)

3. 副教材等

Vision Quest English Grammar 47 New Edition (啓林館)

ワークブック (Vision Quest English Grammar 47 New Edition) (啓林館)

2nd Edition Vision Quest 総合英語 (啓林館)

4. 授業の進め方

Model Conversation を聞いたり・読んだりすることで、英語の表現や文法事項の機能を理解したり、英語の発音に慣れ親しんだりする。次に Practice の文法問題を解きながら言語形式を理解する。最後に Use it において単元で学習した言語形式を用い自己表現を行うことで活用できる英語力を身につけると共に、読み手や目的に応じて簡潔に文章を書けるようにする。

5. 確かな学力を身につけるためのアドバイス

授業は予習を前提として進めるので、辞書を使って事前に学習しておく。授業中は積極的に声を出して、繰り返し単語の発音や音読の練習をする。言語活動に積極的に取り組み、英語を多く使うようにする。

6. 評価方法・考査・テスト・課題等

評価は中間と期末の定期考査の成績、課題考査の成績、ノート・プリントなどの提出物、小テストの成績を総合的に評価する。

7. その他の留意点

辞書を必ず用意する。

授業で扱う範囲の予習は最低限行って授業に臨む。

提出物は必ず期限を守る。

英語表現Ⅰ 年間学習計画表

月	課	指導内容	評価方法	評価の観点
4	L1 My name is Tanaka Kaito. Nice to meet you.	文法 文の種類 機能 相づちを打つ/聞き直す 話題 紹介 発音 イントネーション	授業中の活動, 発表 課題の提出, 小テスト 中間考査	関心意欲態度, 表現の能力 理解の能力, 知識理解
	L2 How did you get interested in Japan?	文法 文型と動詞 機能 言い換える/話題を変える 話題 興味・関心 発音 リズム	授業中の活動, 発表 課題の提出, 小テスト 中間考査	関心意欲態度, 表現の能力 理解の能力, 知識理解
	Show & Tell	紹介・発表の仕方	授業中の活動, 発表	表現の能力
6	L3 I'm planning to go to Nagano this summer.	文法 時制 機能 計画する/予定する 話題 旅行 発音 母音	授業中の活動, 発表 課題の提出, 小テスト 期末考査	関心意欲態度, 表現の能力 理解の能力, 知識理解
	L4 Have you ever seen a live soccer game?	文法 完了形 機能 原因・理由を述べる 話題 スポーツ 発音 子音	授業中の活動, 発表 課題の提出, 小テスト 期末考査	関心意欲態度, 表現の能力 理解の能力, 知識理解
7	L5 Can you help me with this plate?	文法 助動詞 機能 許可を求める/依頼する 話題 食事 発音 カタカナ語	授業中の活動, 発表 課題の提出, 小テスト 期末考査	関心意欲態度, 表現の能力 理解の能力, 知識理解
9	L6 The Sapporo Lilac Festival will be held next week.	文法 受動態 機能 喜ぶ/驚く 話題 観光 発音 数字の発音	授業中の活動, 発表 課題の提出, 小テスト 中間考査	関心意欲態度, 表現の能力 理解の能力, 知識理解
	Linking Words	つながぎの言葉の使い方	授業中の活動, 小テスト 中間考査	表現の能力, 理解の能力
10	L7 Thank you for coming to my birthday party.	文法 不定詞 機能 感謝する/謝罪する 話題 交際 発音 アクセント	授業中の活動, 発表 課題の提出, 小テスト 中間考査	関心意欲態度, 表現の能力 理解の能力, 知識理解
	L8 How about going to a movie this afternoon.	文法 動名詞 機能 勧誘する/申し出る 話題 娯楽 発音 つながる音	授業中の活動, 発表 課題の提出, 小テスト 中間考査	関心意欲態度, 表現の能力 理解の能力, 知識理解
11	L9 Rules are for everyone's comfort and safety.	文法 分詞 機能 賛成する/反対する 話題 ルール 発音 変わる音	授業中の活動, 発表 課題の提出, 小テスト 期末考査	関心意欲態度, 表現の能力 理解の能力, 知識理解
	Paragraph	パラグラフの構成	授業中の活動, 発表 課題の提出, 小テスト 期末考査	関心意欲態度, 表現の能力 理解の能力, 知識理解
12	L10 A must-have item for those who run shops	文法 関係詞 機能 説明する 話題 文化 発音 聞こえなくなる音	授業中の活動, 発表 課題の提出, 小テスト 期末考査	関心意欲態度, 表現の能力 理解の能力, 知識理解
1	L11 I believe everything has a positive side.	文法 比較 機能 意見を述べる/主張する 話題 社会問題 発音 文の中での強調	授業中の活動, 発表 課題の提出, 小テスト 学年末考査	関心意欲態度, 表現の能力 理解の能力, 知識理解
2	L12 I wish my father were more understanding.	文法 仮定法 機能 助言する/提案する 話題 悩み事 発音 アメリカ英語とイギリス英語	授業中の活動, 発表 課題の提出, 学年末考査	関心意欲態度, 表現の能力 理解の能力, 知識理解
	Summary	要点・要約の書き方	授業中の活動, 学年末考査	表現の能力, 理解の能力

教科名	科目名	履修学年	対象学科	単位数
家庭	家庭基礎	1年	普通科	2

1. 学習の目標

- ① 人の一生と家族・家庭および福祉，衣食住，消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得します。
- ② 自身の家庭生活や地域の生活に深い関心を持ち，その中から課題を見だし，それを主体的に解決する力を身につけます。
- ③ 生活をより豊かなものにしていくために必要な知識・技術を習得し，よりよい生活を創造する能力と実践的態度を身につけます。

2. 教科書

家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）

3. 副教材等

2021 最新 生活ハンドブック（第一学習社）
クッキングブック（学習研究社）

4. 授業の進め方

実技・実習が大切な教科なので，年間を通して各分野毎に実験・実習を取り入れた授業を行います。実験・実習・演習の後には，レポート（記録シート）・作品等を提出します。

5. 家庭科を学習するにあたって

- ① 家庭科は生活の仕方を学ぶ教科です。学習したことをこれからの自分の生活にどのように生かしていったらよいか考えて，毎日の生活の中で実践していきましょう。
- ② ニュースや新聞などに目を通し，家族や家庭を取り巻く社会情勢の変化に気づきましょう。
- ③ 授業プリント・実習レポートや作品等は提出期限を守り確実に提出しましょう。

6. 評価方法・考査・テスト・課題等

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域の生活について関心を持ち，その充実向上を目指して意欲的に取り組んでいるか。 ・実践的な態度を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や態度 ・ワークシート及びレポート ・授業の中で使用するプリント ・実習の準備物
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域の生活について見直し，課題を見つけられるか。 ・課題の解決を目指して思考を深め適切に判断し工夫し創造する能力を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考査の論述問題 ・ワークシート及びレポート ・授業の中で使用するプリント ・授業中の発表の内容や仕方
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野での実験・実習における技能 ・提出物，作品等のできばえ
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活の意義や役割を理解し，家庭や地域生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト

家庭基礎 年間学習計画表

学期	月	学習項目	学習内容および学習目標	評価の観点				評価方法
				関心意欲態度	思考判断表現	技能	知識理解	
1 学期	4	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	家庭科で何を学びどのような学習活動をしていくかを知る。ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動の意義や実施方法について理解する。	○	○	○	○	ワークシートの記入状況 授業態度 課題提出状況
		自分らしい人生をつくる	青年期の課題を生涯発達の視点から理解する。男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし、家庭を築くことの重要性について考える。家庭や地域の生活を創造するために、意志決定に基づき、責任を持って行動することが重要であることを認識する。	○	○	○	○	ワークシートの記入状況 授業態度 課題提出状況 定期考査
	5 6 7	高齢社会を生きる	高齢社会の現状と課題を理解する。高齢期の心身の変化や特徴、個人差が大きいことを理解する。身近な高齢者との触れ合いの機会を探す。高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。	○	○	○	○	ワークシートの記入状況 授業態度 課題提出状況 定期考査
		子どもと共に育つ	乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもの育つ環境について理解する。子どもを生み育てることの意義を考える。子どもの発達のために親や家族および地域や社会の果たす役割について認識する。	○	○	○	○	ワークシートの記入状況 授業態度 課題提出状況 定期考査
		共に生き、共に支える	一生を通じた福祉や社会的支援の必要性を知る。多様な人々のニーズ、ノーマライゼーションの理念を理解し、ユニバーサルデザインを具体的に考える。社会保障制度の理念と内容を学ぶ。	○	○	○	○	ワークシートの記入状況 授業態度 課題提出状況 定期考査
	5 6 7	衣生活をつくる	被服のさまざまな役割を整理する。被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い表示・サイズ表示などの意味が分かる。汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適した洗濯や保管方法を知る。生涯を通じて健康で安全な衣生活が営めるようになる。布を使った生活の工夫を知る。	○	○	○	○	ワークシートの記入状況 授業態度 課題提出状況 定期考査 被服製作作品提出
2 学期	9	ホームプロジェクト	夏休みのホームプロジェクト課題を発表する。	○	○	○	○	ワークシートの記入状況 授業態度 課題提出状況
		住生活をつくる	住居の機能や間取りの基礎知識を学ぶ。ライフステージに合った住居を考える。住居を選ぶ際、室内外の環境に着目し、安全性・快適性等を考慮する必要性を学ぶ。バリアフリーの考え方を理解し、身につける。住環境における地域社会とのつながりの重要性を理解し、持続可能な住生活とは何かを考える。色が住空間に与える影響を知り、生活に取り入れる方法を考える。	○	○	○	○	ワークシートの記入状況 授業態度 課題提出状況 定期考査
	10 11 12	食生活をつくる	日常の食生活を振り返る。日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解する。日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を知り、自分や家族に当てはめる。食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を学ぶ。青年期の食事の重要性を理解し、各ライフステージの栄養的特徴を知る。基本的な調理技術を学び、日常食を作れるようになる。日本の伝統的な食文化について理解するとともに、食生活の変化や問題点を知り、環境や食料自給率の問題を考える。生涯を通じて健康で安全な食生活が営めるようになる。	○	○	○	○	ワークシートの記入状況 授業態度 課題提出状況 定期考査
3 学期	1	ホームプロジェクト	冬休みのホームプロジェクト課題を発表する。	○	○	○	○	ワークシートの記入状況 授業態度 課題提出状況
	1 2	経済生活を営む	高校卒業後の経済的自立と職業に関して、主体的に考える必要性を理解する。生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、ライフステージごとのポイントを知る。国際化・複雑化している経済社会と家計との関係を理解する。消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解する。キャッシュレス社会のメリット・デメリットを考え、契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断ができるようにする。消費者基本法を通して、消費者には権利と責任があることを理解する。大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え、持続可能な生活ができるようにする。	○	○	○	○	ワークシートの記入状況 授業態度 課題提出状況
	3	生活を設計する	今までの学習を踏まえ、キャリアの視点から生涯の生活設計に必要な要素をまとめる。自分の目指すライフスタイルを考え、高校卒業後の生活設計を立てる。	○	○	○	○	ワークシートの記入状況 授業態度 課題提出状況 定期考査

教科名	科目名	履修学年	対象学科	単位数
情報	社会と情報	1年	普通科	2

1. 学習の目標

- ・ 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解する。
- ・ 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現できる。
- ・ 効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を身につける。

2. 教科書

「高校社会と情報 新訂版」 (実教出版)

3. 副教材等

「高校社会と情報 新訂版 学習ノート」 (実教出版)

「ポイントでマスター 基礎からはじめる 情報リテラシー」 (実教出版)

4. 授業の進め方

コンピュータ室と教室を利用して、実習と座学のバランスを取りながら授業を展開する。

実習は主にコンピュータ室で行い、情報機器やソフトウェアの基本的な操作を身につける。座学は主に教室で行うが、必要に応じてコンピュータ室で情報機器を活用しながら、実習と相互して行うこともある。

5. 確かな学力を身につけるためのアドバイス

授業時間だけでなく、授業前や放課後にも積極的にコンピュータ室を利用して課題に取り組むとよい。また、家庭などで自由時間等に情報機器を積極的に活用し、体験することも効果的である。

6. 評価方法・考査・テスト・課題等

評価方法は実習課題、実技テスト、発表および各学期に行う定期考査の結果をもとに総合的に評価する。

実習を中心とする教科であるので、出欠と平常の授業態度を重視する。

7. その他の留意点

コンピュータ室での以下のマナーを必ず守ること。

- ・ 時間を守る
- ・ 飲食禁止
- ・ 勝手な操作をしない
- ・ ファイルやソフトウェアのダウンロードや持ち込みをしない

社会と情報 年間学習計画表

学期	月	学習項目 (単元)	学習内容および目標	評価の観点				評価方法
				関心 意欲 態度	思考 判断 表現	技能	知識 理解	
1 学期	4	オリエンテーション	・中学校までの生徒の知識・技能・経験などを調査する	○		○	○	アンケート
			・コンピュータの起動や終了方法を習得する	○		○		授業態度
			・コンピュータ教室でのマナーを理解する	○			○	授業態度
	5	1章 情報社会	・情報と情報社会についての意味を理解する	○	○		○	授業態度 定期考査
			・インターネットの特質と個人の責任・心構えについて学ぶ	○	○		○	授業態度 定期考査
			・メディアの特徴とメディアリテラシーについて学び、技能を身につける	○	○	○	○	授業態度 実習課題 実技テスト
			・個人情報の保護、流失の実態と防止策について学ぶ	○	○		○	授業態度 定期考査
	6	3章 情報安全	・コンピュータウイルス、不正アクセスなどについて学ぶ	○	○		○	授業態度 定期考査
			・個人情報の保護について学ぶ	○	○		○	授業態度 定期考査
			・著作権について学び、著作権の保護の必要性を理解する	○	○		○	授業態度 定期考査
2 学期	9	2章 コミュニケーション	・コミュニケーションの形態について学ぶ	○	○		○	授業態度 定期考査
			・プロトコルやファイル形式を理解する	○			○	授業態度 定期考査
			・Webページの閲覧の仕組みを学ぶ	○	○		○	授業態度 定期考査
			・バリアフリー・ユニバーサルデザインについて理解する	○	○		○	授業態度 定期考査
	10	5章 問題解決	・問題解決の意味を理解する	○			○	授業態度 定期考査
			・問題解決の方法・手順を学び技能を身につける (表計算ソフトについて学ぶ)	○	○	○	○	授業態度 実習課題 実技テスト
			・表現の工夫について理解する	○	○		○	授業態度 定期考査
3 学期	1		・情報を適切に表現し、スライドを作成する	○	○	○	○	授業態度 実習課題
			・プレゼンテーションを行い相互に評価する	○	○	○	○	授業態度 実習課題 発表
	3	4章 デジタル化	・アナログとデジタルの意味、情報量の単位を学ぶ	○	○		○	授業態度
			・2進数、8進数、16進数について学ぶ	○	○	○	○	授業態度 副教材課題
			・圧縮の必要性・仕組みについて学ぶ	○	○		○	授業態度

教科名	科目名	履修学年	対象学科	単位数
総合的な探究の時間	IPT (Intellectual Power Training)	1年	普通科	1

1. 学習の目標

- 「自分の考えを適切に伝えられる力・主張できる力」の育成
 - ・自分の考えをまとめ、相手に的確に伝える能力を高める。
 - ・根拠を示し、論理的に自分の意見を書く力をつける。
- 「他者を尊重し協力し合って、物事に取り組む力」の育成
 - ・自己や他者についての理解を深め、認め合う心を養う。
 - ・他者の様々な意見について、意識を持って傾聴する力をつける。
- 「課題を探究し、解決に向けたプロセスを考える力」の育成
 - ・ディベートや新聞記事探究をとおして時事への関心を持ち、広い視野を身につける。
- 「自ら考えて行動する力・主体性・自立心」の育成
 - ・適性検査や職業・進路講話等をとおして、自身の進路について考える。
 - ・PortfolioをとおしたPDCAサイクルの定着と、自己を俯瞰し、次へ繋げる力を育む。

2. 教科書・副教材等

教科書はありません。Google Classroom およびテキスト教材・プリント資料等を適宜使用します。

3. 授業の進め方

金曜日の7限目に実施します。

年間計画に沿って、担任および副担任の連携指導により展開されます。

4. 確かな学力を身につけるためのアドバイス

- ・活動の目標を理解し、積極的に取り組みましょう。〔主体性〕
- ・日頃から新聞に目を通し、また、テレビやラジオを見聞きしながら社会情勢やその変化に関心を持ち、また、関心のあることはWeb検索を積極的に活用しましょう。〔情報の収集〕
- ・自分の考えを相手にわかりやすく「文として」表現するように努めましょう。〔表現力〕
- ・周りの人の意見をしっかりと聞くとともに、積極的に自分の意見を述べるように心掛けましょう。〔傾聴と主張〕
- ・グループで活動する際には、メンバーと協力しあいましょう。〔協働〕

5. 評価方法・考査・テスト・課題等

テストは実施しません。通知票にも成績は出ませんが、それだけが評価ではありません。IPTは主に学期末の自己評価によって行われ、Google Classroom上の「ポートフォリオ」や「活動報告書」、または「成果物(レポート)」として残すことになります。これらは、みなさん自身の成長の軌跡となるものです。自らを高めるために、活動に真剣に臨むようにしましょう。

I P T 年間学習計画表

学期	月	単 元	主 な 内 容
一 学 期	4月	オリエンテーション 適性を考える	IPT活動についてのガイダンス 志向性のチェック
	5月	言語活動	表現トレーニング（読解力・論理的思考力）
	6月	職業進路探究 言語活動	OB（教育実習生）の話を学ぶ 表現トレーニング（発想力・文章作成）
	7月	職業進路探究 適性を知る 活動を振り返る	先輩に聞講座 R-CAP適性検査 一学期活動報告書の作成（Google Classroom）
二 学 期	9月	進路研究	進路選択（文理選択について：講演会・説明会）
	10月	パネルディベート	パネルディベート①〔ガイダンス・立場決定〕 パネルディベート②〔資料読み込み・立論作成〕
	11月	パネルディベート	パネルディベート③〔資料読み込み・立論作成〕 パネルディベート④〔質問・返答作成〕 パネルディベート⑤〔質問・返答作成〕 パネルディベート⑥〔最終弁論作成〕 パネルディベート⑦〔最終弁論作成・リハーサル〕 パネルディベート⑧〔パネルディベート大会〕
	12月	活動を振り返る	二学期活動報告書の作成（Google Classroom）
三 学 期	1月	社会情勢を知る	NIE（Newspaper in Education）探究活動
	2月	意見をまとめる	NIE探究レポート作成
	3月	意見を発信する 年間の振り返り	NIE探究レポート発表 年間活動報告書の作成（Google Classroom）